



半年間の「脳の健康教室」を終え、修了証を受け取る

「脳の健康教室」修了式

11月30日、町が認知症予防のひとつとして、介護保険の地域支援事業で始めた「脳の健康教室」の修了式が行われました。
60代〜80代までの方々が6月から11月まで（週1回木曜日）の半年間にわたり「読み、書き、計算」に取り組み、24人に修了証が手渡されました。



卒業生の柿原百代(旧姓:江夏百代)さんらによる琴の演奏

感動の永野小学校 創立百三十周年記念式典

12月3日、永野小学校体育館で創立百三十周年記念式典が行われました。
旧職員の上菌猛先生のスピーチや卒業生の柿原百代さんによる記念講演「筆の調べと講話」などが披露されました。
本校児童52人をはじめ来賓・校区民など約200人の参加者があり、おごそかで感動的な式典となりました。



求名「井戸端会」による脳の健康教室

求名「井戸端会」発足

「脳の健康教室」に取り組む!

12月5日、半年間にわたる町の「脳の健康教室」が修了し、継続を望む意見が多かった中、求名地区では、地元の有志8人が教室のサポーター役として名乗り上げ、教室生13人と一緒になって求名「井戸端会」を発足させ、第1回目の教室が行われました。

日本特殊陶業株式会社 防災用公用車3台を寄贈

12月4日、本町に立地している日本特殊陶業株式会社（本社は名古屋）が創立70周年を迎えられ、この記念として、本町に防災用公用車3台を寄贈されました。

町役場本庁舎前で行われた寄贈式で、日本特殊陶業株式会社の橋本玄次郎取締役副社長は「大きな水害で、今もなお大きなつめ跡が残っていますが、1日も早く復興されるよう祈念するとともに防災のために少しでもお役に立てばうれしいです」とあいさつされました。
井上町長は「今回、寄贈いただきました車両は、今後の防災活動に大いに役立てたいと思います。また、復興に向けて立ち上がる大きな力となります」とお礼を述べました。



橋本玄次郎取締役副社長(左)から寄贈書と鍵を受け取る井上町長

ちくりんオーナー 今年も募集!!

12月10日、「竹の里かぐや姫ちくりんオーナー」の現地説明会が求名の橋掛地区で行われました。
今回、1区画10aを20区画準備し、オーナーの募集を呼び掛けたところ、町外から17組の応募がありました。

現地説明会で、さつま農協の永福喜作組合長は「16年度から始めたこの制度により、現在、71人のオーナーが手入れをされ、87区画4・3haが見事なだけのご専用林となりました。また、地域の方やオーナー同士の交流も深まり、うれしく思います。今回、応募された皆様には、オーナーになられて、生産から出荷までの楽しさを味わっていただきたい」とあいさつされました。
現地で説明を受け、早速気に入った12組の方が14区画を契約されました。



オーナー制度について現地です説明を受ける応募者